

東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会
第19回議事要旨(案)

1 開催日時 平成22年3月29日（月） 15：30～17：30

2 開催場所 ホテルルートイン東京東陽町2階 大会議室

3 出席者 中杉委員長、岩崎委員、風祭委員、川名委員、木下委員、佐古委員、高村委員、谷川委員、細野委員、

4 議事(公開)

議事1 「東京PCB廃棄物処理施設の操業状況について」

事務局から、資料1に基づき、施設の操業状況、環境測定結果、トラブル報告、安全教育訓練、ヒヤリハット等について説明。

主な意見は以下のとおり。

○水熱分解設備・冷却器の詰まり対策について

- ・日常の運転管理の中での洗浄方法を具体的に説明されたい。
 (J) 苛性ソーダの濃度、温度を上げること、また詰まりの予兆が見えるところで早めの洗浄を実施している。

○水熱分解設備の腐食について

- ・腐食の状況について定期的に報告すること。

○コンデンサ系排気中のPCB濃度上昇トラブルについて

- ・活性炭槽がPCBだけで破過するとは考えられないで、オイルスクラバー油の影響等を検討し、無駄の少ない交換が望ましい。
- ・サンプリングポイントが活性炭槽の中間位置としていることは、安全面では評価できるが、PCB処理に悪影響を与えないような検討が必要ではないか。
- ・ドラム缶からの滲みについて

想定ができる初步的なトラブルである。このような想定ができるトラブルは起こさぬよう管理すること。

議事2 「東京事業所内部技術評価について」

事務局から、資料2に基づき、内部技術評価結果について説明。

主な意見は以下のとおり。

- ・評価があまくならないような評価委員の選定に留意されたい。
- ・処理が滞るケースが発生すると考えられるが、マニュフェスト管理については前もって要領等を定め適切な管理を行なうこと。

その他

- ・一般の人にも分かりやすい資料を作成し、説明を工夫すること。